



ぞう組クラスだより

2021年度

5月号

社会福祉法人尚徳福祉会
生麦保育園

風を心地よく感じられるようになりました。園庭に咲くフリージアやチューリップを見ると、春の訪れを感じます。あっという間のぞう組さん、卒園までの最後の保育園生活が充実するように、たくさん遊び、園生活を楽しんでいきたいと思えます。

ぞう組にやりました

きりん組の時からわくわくで楽しみにしていたぞう組での生活が始まりました。「ぞう組さんは保育園でなにをするの?と聞くと、「ぞうぐみってほいくえんでいちばんのおねえさんとおにいさんなの」「ちいさいこがまねしちゃうから、あぶないことはしないよ」「みどりちゃんのおせわもするよ」などみんなで話しました。それぞれが年長としてのイメージを持っているようです。進級のわくわくもそうですが、年長としての意識が逆に不安にならないよう、コミュニケーションを多くとり、楽しく過ごせるように関わっていきたいと思えます。お友だちと一緒に過ごす中で、お友だちが困っている時や悲しそうにしている時に、今どんな気持ちなのかを自分たちで気づけるようになったり、手助けをしてあげたりなど、他児を思いやる気持ちも育んでいるようです。たくさん体を動かして卒園までの毎日の園生活が充実できるように関わり、担任も一緒に楽しんでいきたいと思っています。

こいのぼり製作



こいのぼりの制作をしました。こいの目はあらかじめ丸を書いてある紙を線にそってはさみで切り取り、こいの体はろうそくでどんな模様が浮き上がるのかを想像しながら書き、好きな色の絵の具で塗り、模様がでてくるのを楽しみにしながら塗りました。「もようでてきた〜」「いろぬりたのしい〜!」などの声が聞かれ、楽しんでいました。絵の具を塗った後は、切り取った目玉をのりでつけました。はさみや絵の具を使う姿は真剣で、とても上手でした。制作が終わると「こんどはなにやるのかな〜」と楽しみにしている姿が見られました。

さんぽでのようす

きりん組とぞう組でたくさん散歩に出掛けました。道路側にできることが分かると、保育者が声を掛ける前に自分たちで気づき、「チェンジ!」といいながらぞう組が道路側にいき、きりん組は内側に入れるように考えて歩いています。「あるくときはてをはなしちゃいけないよ」と優しく教える姿も見られます。公園では、かけっこ・ごっこ遊び・木の枝で釣り遊びなどがブームなようで、「いっしょにあそぼう」と誘い合い、それぞれがお友だちと遊んでいます。体力もたくさんあるので、全力で遊んでいます。帰り道はへとへと・・・静かなお散歩になることもあります。



フリージアの成長



きりん組の時に育てたフリージアの花がきれいに咲きました。植物を育てることにとっても関心を持っていて、朝嬉しそうに「せんせいさいたよ!」と教えてくれました。園長先生が「いいにおいがするのよ、かいでごらん」と教えてもらい、実際に嗅いでみると「ほんとだ!いいにおいする〜!」とみんなで嗅いでいました。枯れてしまうのは悲しいので綺麗に咲いているうちに、クレヨン画で紙にフリージアの絵を書きました。すでに枯れているお花や倒れている花もよく観察して絵を書いたり、じょうろで水をあげている様子も書いたりすることができました。完成すると、「ここはこうなんだ」と工夫した点を丁寧に教えてくれました。



お知らせ

5月22日(土)クラス懇談会を予定しています。普段の子どもたちの園生活の様子を保護者の方にお話ししたいと思います。

コロナ感染防止の為、中止になる場合もありますので、後日お知らせ致します。